

道徳だより 第6学年

Good Heart

木津川市立棚倉小学校 平成29年6月22日

本校では、道徳教育を重点的に研究しています。このお便りでは、各学年で取り組んでいる取組や授業の様子をお知らせしていきます。学校での子どもたちの様子を知ってもらおうと共に、お家での話題のきっかけにしてみようと思います。

「礼に始まり礼に終わる」アントン＝ヘーシンク

6年生では、「礼儀正しいこと」について考える学習をしました。

舞台は1964年の東京オリンピック、柔道無差別級の決勝戦。日本中の誰もが、日本の神永選手を応援する中、勝ったのはオランダのアントン＝ヘーシンク選手。その時にヘーシンク選手が、勝って喜びのあまり近づいてくる関係者を「こっちへ来るな。」と厳しい表情でにらんだのはなぜか。ヘーシンクさんの生き方を通して、本当の礼儀正しさとは何なのかを考えるきっかけとしてほしい、そんな思いをもって、授業を行いました。

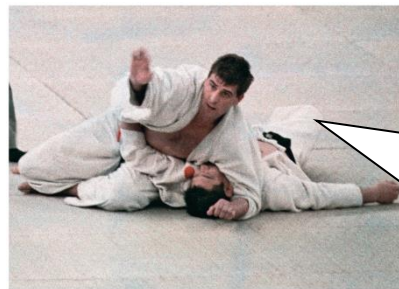


礼儀正しいってどんなこと・・・？

- おじぎやあいさつができる。
- 誰にでも敬語を使える。
- 心づかいができる。

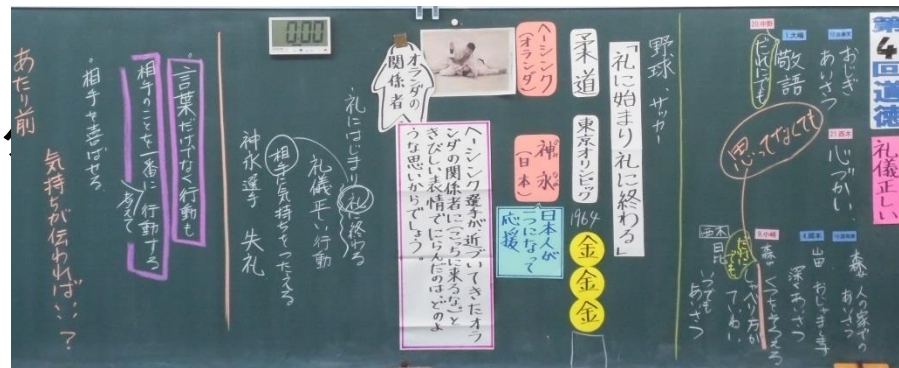
普段、礼儀正しいなと思う人は？

- 森くんは、家に遊びにきた時にしっかりあいさつできる。
- 山田さんは、「おじゃまします。」と言って深くあいさつできる。
- 森さんは、誰にでも話し方がていねい。
- 日比さんは、いつでもあいさつができる。



ヘーシンク選手が、喜んで近づいてきた関係者に「こっちへ来るな。」と厳しい表情でにらんだのはなぜだろう？

- 礼に始まって、礼に終わるができていないから。
- 相手の神永選手に気持ちを伝えるため。
- 相手選手に失礼だから。



本当に礼儀正しいってどんなことだろう。

- 言葉だけでなく、行動で示すこと。
- 相手の気持ちになって考えて行動すること。
- 感謝の気持ちを伝えること。
- 相手を元気にさせること。相手を喜ばせること。

〈児童の感想より〉

あいさつやしゃべり方で、自分の気持ちをこめていたらいいと思ってたけど、ヘーシンク選手の行動を見て、「相手のことを一番に考える」「言葉だけでなく行動で表す。」ことが大切だと思ったので、自分の行動で、この二つを見直していきたいです。

礼儀は、敬語とかだけじゃなくて、相手をいい気持ちにさせられるような礼儀もあることがわかりました。なので、そんな礼儀をしていきたいです。

僕が思ったのは、その場面で礼儀は変わるということです。自分なりに、どういう場面でどういう行動をとればいいのか考えて過ごしたいです。